

## 令和5年度 長崎県立長崎鶴洋高等学校「ふるさと教育」体系図

## テーマ

## サステイナブル・ホームタウン(持続可能なふるさと)の共創

## 目標

- (1)先端企業と連携した探究活動(地域課題解決学習)の実施 (2)探究活動を通じた社会貢献

育成したい  
資質・能力

地元探究能力

コミュニケーション能力

協働性

リーダーシップ

外部連携機関  
(行政機関・事業所)

- 長崎市電力支店
- 野母崎三和漁業協同組合
- (有)吉川土木コンサルタント
- 大和リース株式会社
- フレスボ深堀店

連携協働

## 長崎県立長崎鶴洋高等学校

(水産科・総合学科1・2・3年、生徒数271名)

## キャリア教育推進委員会

〔委員長〕校長、〔副委員長〕教頭

教務主任 進路指導主事 進路副主任 生徒会主任 1学年主任 2学年主任  
3学年主任 水産科主任 総合学科主任

## &lt;主な取組&gt;

## ○外部から学校へ

- (1) ゼロカーボンシティに関する講演
- (2) 企業や大学教授の助言等
- (3) 必要機材の提供

## ○学校から外部へ

- (1) 小学生へのプログラミング教室
- (2) 鶴洋マルシェ
- (3) 近隣小学校とのオンライン水族館の実施
- (4) 特別支援学校及び小学生、保育園児との交流学習
- (5) 地元企業でのインターンシップや漁家研修を通して地域産業の特性を理解
- (6) 中間報告会（水産科令和5年10月13日 総合学科令和5年12月4日）
- (7) 地元の行政機関や事業所、地域住民、保護者等に向けた実践研究発表会（令和6年1月）
- (8) SDGsアイデアコンテスト
- (9) 地域紙（誌）を活用した活動（長崎市南部地区広報誌【Hajikko】）

## ○調査・研究【類型（水産科）・系列（総合学科）ごとの活動充実】

- ・サンゴ礁生息域調査
- ・鳥獣害追い払い
- ・ゼロカーボンへの取組
- ・魚種の違いによるフグ毒の耐性実験
- ・ゴミ分布調査

指成標果

- (1) 就職者に占める県内就職者の割合 65%
- (2) 将来地元に残りまたは戻り、ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合 85%

外部連携機関  
(大学・専門機関)

- 宮崎大学農学部
- 近隣小学校
- 特別支援学校

- 南部地区特別支援小学生
- 近隣保育園

地域社会（保護者を含む住民）